

国内全事業所を対象とした「紙パックリサイクル推進キャンペーン」を実施しました

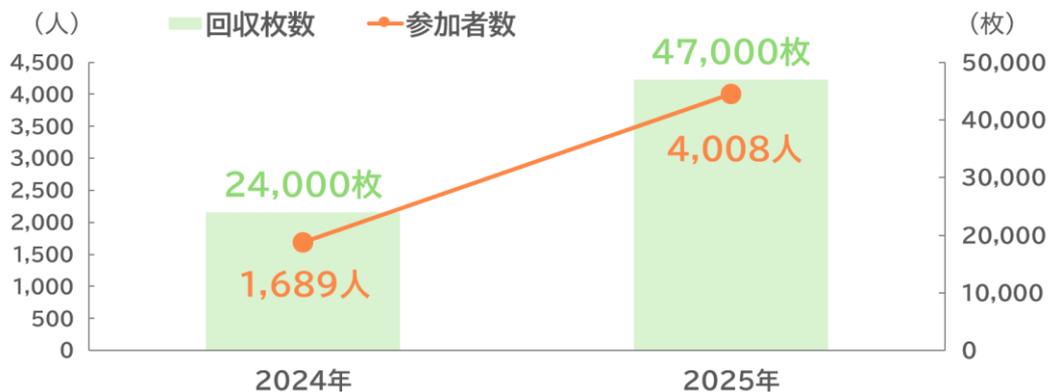
森永乳業グループでは、「サステナビリティ中長期計画 2030」における重要取組課題「環境配慮と資源循環」の取り組みの1つとして、日頃より紙パック回収ボックスを事業所に設置するなど、紙パックリサイクルの取り組みを推進しています。

2025年9月、国内全事業所を対象とした「紙パックリサイクル推進キャンペーン」を実施し、約4,000名が参加、約47,000枚の紙パックを回収しました。回収した紙パックは、7,000個を超える再生紙使用のトイレトペーパーに換えて「ドナルド・マクドナルド・ハウス」国内全12ハウスへ寄贈しました。

今年度は、社員一人ひとりのリサイクル意識向上を目的に、国内全事業所に配置されたサステナビリティ推進リーダーが、キャンペーンへの参加を促進するための企画を考えました。推進リーダーによる投票で選ばれた「事業所対抗バトル」を実施した結果、参加者数および回収枚数は前年度比で約2倍に増加し、社内における紙パックリサイクルへの取り組みの機運醸成につながりました。

「事業所対抗バトル」の結果と順位

【結果】



【順位】

- 1位 松本工場 回収枚数: 23.95枚/人
- 2位 沖縄森永乳業株式会社 回収枚数: 18.38枚/人
- 3位 北陸支店 回収枚数: 15.57枚/人

※参加者一人当たりの平均回収枚数が多かった上位3チーム



左から、松本工場(1位)、沖縄森永乳業株式会社(2位)、北陸支店(3位)



寄贈先「ドナルド・マクドナルド・ハウス」について

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する自宅から遠く離れた病院に入院・通院している子どもとご家族のための滞在施設です。当社は、2001年の第1号ハウス設立時より当社商品の提供など、様々な支援を行ってまいりました。近年では、「ドナルド・マクドナルド・ハウス」への支援だけでなく、入院中の子どもたちとご家族をサポートする「ハートフルカート」活動(日用品などの「ちいさなギフト」を病棟にて無償で配布する)への参加や、病院で治療を受けている子どもたちに向けたオンライン体験プログラムとして工場見学の開催など、支援の幅を広げています。

2025年5月、当社グループは「森永乳業グループ10年ビジョン」の実現を目指し、「森永乳業グループ中期経営計画 2025-28」を発表しました。この新しい中期経営計画の策定に合わせて、「サステナビリティ中長期計画 2030」も改訂を図りました。

引き続き、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現を目指して、両計画を相互に連動しながらサステナビリティ活動に取り組んでまいります。

かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社